



Info Mart

インフォ・マート

(自主公演のチケットのお求め・お問合せはこちらへ) 04-2998-7777 | <https://www.muse-tokorozawa.or.jp> vol.142

森麻季 [ソプラノ]
錦織健 [テノール]

▶▶P1

©Yuji Hori

©大八木 宏武 (都恋堂)

トウラン [カザフスタン伝統音楽] ▶▶P3

金子三勇士 [ピアノ] ベートーヴェン×リスト ▶▶P5

世界の聴衆を虜にする
奇跡のクリスタル・ヴォイス

澄み切った歌声で世界から絶賛を浴びるディーヴァ森麻季がオペラ・デビュー30周年というメモリアル・イヤーにアークホールに帰ってくる。1998年にワシントン・ナショナル・オペラの《後宮からの誘拐》で大成功をおさめ世界から注目を浴びて以来、小澤征爾、ルイーダ・アッシュケナージ、ミョンフンといった世界的な指揮者と次々と共演。ドレスデン国立歌劇場の《ばらの騎士》のゾフィー、またトリノ王立歌劇場では《ラ・ボエーム》のムゼッタで出演するなど、最高峰の舞台で耳の肥えたヨーロッパの聴衆をも魅了している。

いま世界から熱い注目を集める山田和樹も森麻季に全幅の信頼を寄せており、2023年にBBCプロムスに《カルミナ・ブラーナ》のソリストに指名、翌2024年にはバーミンガム市響の定期演奏会における《蝶々夫人》のタイトルロールを歌い絶賛を浴びるなど、国内外で目覚ましい活躍を繰り返している。世界的にも稀有な美しく澄んだ声質の森麻季は、バロック音楽のジャンルでも高い評価を獲得しており《メサイア》《マタイ受難曲》などの宗教曲のほか、ヘンデルの《リナルド》ではエディンバラ音楽祭に出演するなど、豊かな表現力と美声はますます注目を集めている。

所沢ミュージズには、これまで数々のリサイタルのほか、東響との名曲コンサート、東京フィルとの《第九》、パッハ・コレグウム・ジャパンとのモーツァルト《レクイエム》、ピアニストの仲道郁代との共演などで出演しており、さらに輝きをました奇跡の歌声を聴かせてくれるだろう。

輝くような高音と情感豊かな表現で
ファンを魅了する名歌手

《メリー・ウイドウ》のカミューでデビューを果たしたのが1986年。以来40年歌い続け、いまなお輝かしく力強い高音と情感豊かな表現でファンを魅了する錦織健。

《リゴレット》《椿姫》など名作オペラから《こうもり》《メリー・ウイドウ》などのオペレッタまで数々出演。また《第九》《メサイア》、モーツァルトやヴェルディの《レクイエム》などのソリストとしても高く評価を受けている。所沢ミュージズでもオーブン以来、数々のリサイタルの他、東響との共演で《レクイエム》や《ガラ・コンサート》にも出演し絶賛を浴びてきた。

2000年と2003年には大晦日のNHK紅白歌合戦に出演して国民的な人気を博し、2012年から6年間NHK・FMラジオのパーソナリティーを務めるなどテレビやラジオへの出演も数多い。2002年から自ら座長となり《コジ・ファン・トゥッテ》《セヴィリアの理髪師》《ドン・ジョヴァンニ》など、2015年の第6弾《後宮からの逃走》までオペラ・プロデュースを務めた。全国各地で大人気のリサイタルは《声楽バラエティ》と呼び、日本歌曲、オペラ・アリア、イタリア歌曲、カンツォーネ、ポピュラー・ソングから最後はマイクを使わずクイーンをシャウト！錦織ワールド全開の誰にも真似できないプログラムで観客を魅了する。今回の公演でも、数々のステージを共にしてきた森麻季と深い信頼で結ばれた豊かなハーモニーを聴かせてくれるだろう。

世界を魅了する 名歌手の豪華共演

円熟の瞬間を迎え、いま 響きあう奇跡のハーモニー

奇跡のようなクリスタル・ヴォイスで世界を魅了する森麻季と日本声楽界唯一無二のエンターテイナー錦織健が、所沢ミュージズでついに共演を果たす。尊敬しあう二人が織りなす美しいハーモニーにご期待ください！



オペラ・デビュー40周年

錦織 健 (テノール)
Ken Nishikiori



2017年10月所沢ミュージズに出演し多彩なプログラムを熱唱



2021年9月所沢ミュージズにリサイタルで出演し絶賛を浴びた



オペラ・デビュー30周年

森 麻季 (ソプラノ)
Maki Mori

森 麻季 [ソプラノ] × **錦織 健** [テノール]

2026年7月18日 (土)
13:15開場 14:00開演
アークホール

好評発売中

〈料金〉
全席指定 4,300円 **メンバーズ特割** 3,700円

〈曲目〉
服部良一: 蘇州夜曲
山田耕柝: からのちの花
プッチーニ: 歌劇《ラ・ボエーム》より〈ああ、麗しの乙女〉
ドニゼッティ: 歌劇《ドン・パスクワレ》より
〈もう一度愛の言葉を〉 ほか

※未就学児の入場はご遠慮ください。
※託児サービスあり。
※都合により出演者・曲目の一部が変更になる場合がございます。



公演情報

カザフスタンの伝統楽器

ドムブラ
Dombyra

カザフスタンの代表的な楽器。弦を直接指ではじいて演奏する二弦の撥弦楽器。軽快で明るい音色が特徴。



コブズ
Kobyz

ドムブラと並ぶ代表的な楽器。胴の細い部分を膝に挟んで、弓で音を奏する二弦の弓弦楽器。深く、叙情的な音色が特徴。草原の風や馬の足音、狼の遠吠えなど、自然の音を表現するのに使われる。



スズグ(シブズキー)
Sybyzgy

元々は葦の茎で作られた縦笛。指穴は3つか4つほどしかなく、自分の喉の音と、笛の音を同時に鳴らす独特な奏法が特徴。



トゥヤクタス
Tuyaktas

馬のひづめでできている打楽器。馬が大地を駆け抜けるような音を奏でる。



ジェティゲン
Jetigen

撥弦楽器。元々は7本の弦から作られた。日本の琴に似た長い箱型の形をしている。



クンタヤク
Kuntayak

木製の棒やフレームの先に金属製のリング、ベルなどを取り付けた打楽器。振ったり地面に打ち付けたりして音を出す。



口琴

弁を指で弾いて振動させ、口内で共鳴させることで豊かな響きをだす。口の形や舌の位置、喉の動きを変えることで、音色を豊かに操る。



ダングレ
Dangyra

木の枠に皮が張られた太鼓で、内部の金属片が鳴ることで華やかな音色を出す。




古代から現代へ——
遊牧民の魂の鼓動

トウラン
カザフスタン伝統音楽



日本
初上陸



どこまでも続く草原、砂漠、山湖…何千年も続く遊牧文化が、今も生活の中に息づいているカザフスタン。地理や歴史的な背景から東洋と西洋の文化をあわせもつて今日まで発展してきた。今期待望の初来日を果たすのは、2008年にカザフスタン出身の5人で結成された「TURAN(トウラン)」。トウランとは、古代の中央アジアの大地に由来し「共通のルーツを持つ人々がつながる場所」という意味を持つ。

彼らの音楽は、カザフスタンの伝統楽器と歌い手が数種の声を操る歌唱法(喉歌)カザフ語で「コメリアン」で奏でられる。その力強くも繊細な旋律は、草原を渡る風、馬の疾走、遊牧民の深い魂を描き出し、聴く人をはるか昔の大地へと誘う。

舞台では民族衣装をまとい、かつては狩猟の合図や宗教的なシャーマニズムの儀式で使われていた伝統楽器を、現代的感覚で新たに描き出す世界観は圧巻。2021年にはオーケストラとの共演に挑み、まさに東洋と西洋との音楽を融合させ、遊牧文化のスピリットを壮大な音世界へと昇華させた。

これはメンバー全員が伝統楽器のスペシャリストとして音楽や文化を継承しているからこそ成し遂げることができた業である。

過去と未来、伝統と革新をつなぐ魂を揺さぶるような響きは、まさに音の旅——。

カザフスタンの大地と歴史に根差した音色と旋律で、遊牧民の深い魂を所沢ミュージアムで体感してください。

カザフスタンの伝統芸能
「オルテケ」Orteke

人形劇と音楽が融合した伝統芸能。演奏者が「タウテケ」と呼ばれる木製のヤギの人形を操りながらドムブラを奏でると、人形が演奏に合わせて動き出し、音楽、ダンス、物語が融合した生き生きとしたパフォーマンスを生み出す。



カザフスタン
中央アジア雑貨
ミニマーケット開催!



ロビーにてカザフスタン・中央アジア雑貨を販売します。普段なかなか手に取ることのできない雑貨に出会えるかも!?コンサートの前後に是非お楽しみください。

出店: Tulpar (トゥルパル)
中央ユーラシアの雑貨とアートの店

おすすめ動画 YouTube

Er Turan エルトゥラン (アカベラver.)
Orteke オルテケ
Kara Zhorga カラゾルガ



TURAN トウラン
[カザフスタン伝統音楽]

2026年6月13日(土)
13:15開場 14:00開演
マーキーホール
好評発売中

公演情報

〈曲目〉
Shabyt (インスピレーション)
Orteke (バベット)
Kara Zhorga (黒馬)[カザフの伝統舞踊]
Er Turan (エルトゥラン)
ソーラン節 ほか

〈料金〉全席指定 4,300円
メンバーズ特割 3,300円

トウラン
オフィシャルHP

※未就学児の入場はご遠慮ください。※託児サービスあり。
※都合により出演者・曲目の一部が変更になる場合がございます。




セリク・ヌルモルダ SERIK NURMOLDA
バウルジャン・ベクムハンベト BAUYRZHAN BEKMUKHANBET
マクサト・メデウベク MAKSAT MEDEUBEK
イェルジギット・アリエフ YERZHIGIT ALIYEV
ジャントゥ・ダダバエフ ZHANTU DADABAYEV





日本デビュー15周年記念
15th Anniversary 2011-2026

Miyuji Kaneko

©Seiichi Saito

ベートーヴェン×リスト

偉大なる作曲家たちの時空を超えた運命の出会い

金子三勇士

「ピアノ」

日本デビュー15周年を
記念する渾身のプログラム

2011年の日本デビュー以来、目覚ましい活躍を繰り返す金子三勇士がメモリアルイヤーに渾身のプログラムで所沢ミュージアムに登場する。金子三勇士といえば、テレビ、ラジオ、映画などのメディアでの活躍も顕著であり、加えてコンサートホールを飛び出し地域の学校などへ出向いて音楽を届けるアウトリーチ活動にも長年情熱を注いでいる。所沢でも、市役所でのロビーコンサートや埼玉県立芸術総合高校へのアウトリーチコンサートのほか、リサイタルに関連した「音楽講義」でも多くのファンを魅了してきた。

今回のリサイタル《ベートーヴェン×リスト 偉大なる作曲家たちの時空を超えた運命の出会い》では、ハンガリーにルーツを持つ金子三勇士が情熱を注ぐリストの作品と、そのリストが敬愛してやまなかったベートーヴェンの作品を取り上げられる。ダイナミックでエネルギー溢れる演奏のみならず、音楽史や当時の社会状況にも造詣の深い金子三勇士だけに、事前に開催される「音楽講義」では、ベートーヴェンとリストの音楽の特徴と人間的な魅力が解き明かされるだろう。

リストの作品の魅力と
哲学を伝える伝道師

ハンガリー人の母を持ち、自身も6歳から単身ハンガリーに渡りリストが初代総長を務めたハンガリー国立リスト音楽院大学で研鑽

を積んだ金子三勇士。リスト直系の弟子にあたるエックハルト・ガールから教えを受けたこともあり、リストの音楽には並々ならぬ思い入れがあり、その音楽の奥深い魅力、人生観や哲学を探求し発信していくことを音楽家として大きな使命だと考えている。

リストと言えば超絶技巧のピアニストというイメージが強いが、それはリストのひとつの側面に過ぎない。ピアニストとして不動の名声を築いたのには、作曲に力を注ぎ「交響詩」のジャンルを創始するなど作曲史に大きな足跡を残した。晩年にはキリスト教への信仰を深め、厚い信仰心に基づく名作を数多く生み出し、さらに才能ある弟子たちに無償でレッスンをを行うなど、教師としても凶り知れない功績を残した。今回のリサイタルのプログラムも単なる名曲の羅列ではなく、そうしたリストの多面的で奥深い魅力を感じさせてくれるだろう。

時空を超えて共鳴する
ベートーヴェンとリストの革新性

1811年生まれリストが最も尊敬したのが約40歳年長のベートーヴェンである。幼い頃、ベートーヴェンの弟子であるチェルニーに師事したリストは、いわば孫弟子にあたるのだが、偉大な楽聖への深い敬意からベートーヴェンの9曲の交響曲をピアノ用に編曲するという偉業を成し遂げ、作品の真価を多くの聴衆や弟子たちに広めた。金子三勇士もまたリストの精神を現代に受け継ぎ、ベートーヴェンの交響曲第5番《運命》をリストのピアノ編曲版にさらにアレンジ

ジを加えて演奏したり、《第9》の第4楽章《歓喜の歌》では、リスト編曲を元にテクノロジを駆使した2台ピアノによる演奏を行うなど、革新的なアプローチに挑戦してきた。

今回のリサイタルで取り上げる《悲愴》はベートーヴェンが、師であるハイドンの影響を乗り越え自らの音楽様式を確立した作品であり、《月光》もまた「幻想的ソナタ」という副題が示す通りロマン派への扉を拓く斬新な手法で作曲されている。節目の年を迎える金子三勇士が、これらの作品に宿る進取の精神をどのように表現するのか期待が高まる。

おすすめ動画
YouTube
ベートーヴェン:
バガテル《エリーゼのために》
リスト:
コンソレーション第3番



リサイタルや「音楽講義」でも親しみやすく含蓄深い解説が好評を得ている



埼玉県立 芸術総合高校では演奏やワンポイント・レッスンで生徒と交流した



所沢市役所のロビー・コンサートアウトリーチ活動に長年取り組んでいる



ハンガリーではリストの直系の弟子にあたるエックハルト先生に師事した

金子三勇士 [ピアノ]
ベートーヴェン×リスト

2026年5月23日 (土)
13:15開場 14:00開演
アークホール

好評発売中

公演情報

〈曲目〉
リスト:
バガニーニ大練習曲集より「ラ・カンパネラ」
愛の夢 第3番
巡礼の年 第1年「スイス」より「泉のほとり」
巡礼の年 第2年「イタリア」より「ペトルカソネット104番」
「リゴレット」による演奏会用バラフレーズ

ベートーヴェン:
ピアノ・ソナタ第14番 嬰ハ短調 Op.27-2「月光」
バガテル「エリーゼのために」
ピアノ・ソナタ第8番 ハ短調 Op.13「悲愴」

〈料金〉
全席指定 2,800円 **メンバーズ特割** 2,300円

※未就学児の入場はご遠慮ください。※託児サービスあり(有料・要予約)。
※都合により出演者・曲目の一部が変更になる場合がございます。

【関連企画】
金子三勇士先生の音楽講義
2026年4月25日 (土)
14:00開演
キューブホール **完売御礼**

ステージレポート

Stage Report

2025年12月13日
～2026年1月31日

2025 12/13 ■ キリル・ゲルシュタイン&藤田真央 [ピアノデュオ]

〈アークホール〉
曲目／シューベルト：創作主題による
8つの変奏曲変イ長調 D813
ラフマニノフ：交響的舞曲 Op.45
ほか

師弟による初リサイタルは、やわらかい抒情のシューベルトから情念が渦巻くラフマニノフまで、多彩な表現で満席の会場を魅了しました。



12/14 ■ 〈創立45周年ツアー〉鼓童 十二月公演2025

〈マーキーホール〉
出演／太鼓芸能集団 鼓童
世界で絶賛を浴びる鼓童が2年ぶりに所沢ミュージアムに登場! 研ぎ澄まされた空気の中に凜と響く曲目から、祭りのような賑やかな演目まで、多彩な響きと舞台展開で観客を魅了しました。



12/20 ■ NBAバレエ団「くるみ割り人形」

〈マーキーホール〉
芸術監督／久保純一
出演／メインキャスト
〈1回目〉クララ：寺尾はづき
王子：柳島皇瑤
〈2回目〉クララ：須谷まきこ
王子：中山諒
〈3回目〉クララ：山田佳歩
王子：新井悠汰



12/23 ■ 劇団四季 ファミリーミュージカル 『王子と少年』

〈マーキーホール〉
出演／劇団四季



12/31 ■ 2025ズーラシアンブラス ジルバスター音楽祭

〈アークホール〉
出演／ズーラシアンフィルハーモニー管弦楽団
曲目／ジルバスターファンファーレ
川柳ブラス2025
動物紅白歌合戦2025
ほか

所沢ミュージアム1年の締めくくりはズーラシアンブラスのジルバスター音楽祭! 満席の中、動物紅白歌合戦など、動物さんたちの熱演に大きな声援が贈られました。



2026 1/3 ■ シルク・ドゥラ・シンフォニー ウィーン・ヨハン・シュトラウス 管弦楽団

〈アークホール〉
曲目／
ピゼー：歌劇《カルメン》より
ヨハン・シュトラウスⅡ世：
美しく青きドナウ
ほか



2026 1/11 ■ 東京交響楽団 New Year Concert 2026 ユベール・スダーン [指揮] 小山実稚恵 [ピアノ]

〈アークホール〉
曲目／ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第2番 ハ短調 Op.18
ドヴォルジャーク：交響曲 第9番 ホ短調 Op.95《新世界より》
ほか

日本が誇る名ピアニスト小山実稚恵は、ラフマニノフで煌めくようなタッチと溢れる抒情で聴衆を魅了! 世界的名指揮者スダーンは《新世界》で、東響の実力を見事に引き出し、スケールの大きな名演を披露しました。



1/11 ■ 第126回所沢寄席 初笑い! 開運らくご会

〈マーキーホール〉
出演／林家正蔵、柳家喬太郎、桂宮治、林家つる子、びろき [ウクレレ漫談]、林家あずみ [三味線漫談]

開演前には地元所沢の「重松流雑子保存会」によるお目出たいお囃子もあり、新春にふさわしい華やかで賑やかな公演となりました!



1/17 ■ 二兎社公演49「狩場の悲劇」

〈マーキーホール〉
出演／溝端淳平、玉置玲央、亀田佳明、大西礼芳、加治将樹、岡田地平、ホリユウキ、水野あや、石井愼一、佐藤賢、川添野愛

2日間の所沢公演! 観客をぐいぐいと物語に引き込む名演技、ユーモアに溢れる舞台展開、殺人へと向かう緊迫感、そしてチェーホフも驚くであろう結末に大きな喝采が贈られました!



1/24 ■ 大和証券グループ presents 辻井伸行 日本ツアー2026《抒情と熱情》

〈アークホール〉
曲目／ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ 第23番 ヘ短調 Op.57《熱情》
チャイコフスキー（プレトニョフ編曲）：《くるみ割り人形》組曲 全7曲
ほか

モーツァルト、ベートーヴェン、グリーグ、チャイコフスキーの多彩な傑作! みずみずしい抒情と燦めくような響き、漲る情熱に大きな拍手が贈られました!



1/25 ■ ラファウ・ブレハッチ [ピアノ]

〈アークホール〉
曲目／ベートーヴェン：
ピアノ・ソナタ 第14番
嬰ハ短調 Op.27-2《月光》
ショパン：スケルツォ 第3番
嬰ハ短調 Op.39 ほか



1/31 ■ ニューイヤー・オペラ・ガラ・コンサート

〈アークホール〉
出演／森谷真理 光岡暁恵、宮地江奈 [ソプラノ]、村松稔之 [カウンターテナー]、古橋郷平、宮里直樹 [テノール]、押川浩士 [バリトン]、斉木健詞 [バス]、赤星裕子 [ピアノ]
曲目／モーツァルト：《魔笛》より〈この聖なる殿堂には〉
グノー：《ロメオとジュリエット》より〈私は夢に生きたい〉 ほか



写真撮影 (市民カメラマン) / 佐藤 (12/13, 1/11, 1/25) 三平 (12/14, 1/3) 西山 (12/20, 1/24) 由井 (12/23, 12/31, 1/17, 1/31) 中村 (1/11)

チケットのお問合せは……ミュージズチケットカウンター
04-2998-7777

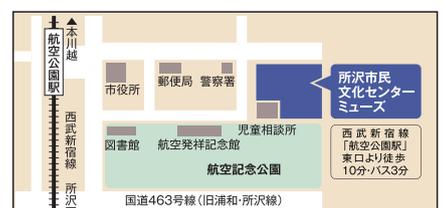
●窓口・電話予約10:00~18:00 ※休館日を除く

●インターネット予約



クラシック・ポピュラー・演劇・寄席など多彩で魅力溢れる公演を開催しております!

詳細はミュージズホームページでご確認ください。
<https://www.muse-tokorozawa.or.jp>



※公演情報は2026年2月19日現在のものです。曲目・出演者の変更やチケットが売切れとなる場合がございますので、ご了承ください。

今回のインフォ・マートは2026年5月15日発行予定です。どうぞお楽しみに。